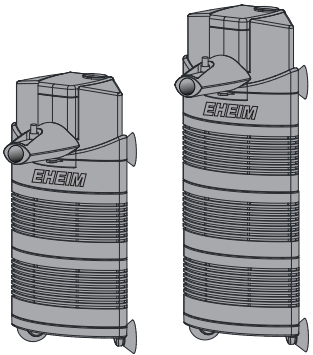


観賞魚用水中フィルター

エーハイム アクア 60/160



このたびは、エーハイム アクアをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みください。この取扱説明書は必ず保管してください。
- 本製品には保証書がついています。保証書はかならず使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。
- 正しくお使いいただくために、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

日本総代理店 **神畑養魚株式会社**

用品部 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中3-3-20

【製品に関するお問い合わせ】

Tel.079-297-5420 Fax.079-293-6467ホームページアドレス <https://www.kamihata.co.jp>エーハイム製品専用ページ <https://eheim.jp>

製品の特長

- 水槽のコーナー部分にスッキリとおさめることができ、簡単に操作できる水中フィルターです。
- ディフューザー付きで、効率的に酸素を供給できます。
- レバーで流量を簡単に調節することができます。
- スポンジフィルターと、水のニゴリをとるエーハイムアクティブ（活性炭）が付いています。
- フィルターケースはシンプルな構造でお手入れが簡単です。
- スポンジフィルターは、エーハイムサブストラットプロ（別売）等と入れ替えることができます。

製品仕様

機種	エーハイム アクア60 (2206)	エーハイム アクア160 (2207)
エーハイムコード	2206330	2207330
ポンプ性能※ (可変式)	50Hz 160～300L/h (理論値)	210～440L/h (理論値)
	60Hz 170～350L/h (理論値)	240～480L/h (理論値)
最大揚程	50Hz 0.3m	0.4m
	60Hz 0.4m	0.5m
定格周波数	50/60Hz共通	50/60Hz共通
定格電圧	AC100V	AC100V
定格消費電力	50Hz 4.5W	4.7W
	60Hz 3.5W	4.2W
ろ過槽容積	約160mL	約240mL
付属ろ材	スポンジフィルター ×2個、活性炭	スポンジフィルター ×3個、活性炭
本体寸法 (W×D×H)	66×66×168mm	66×66×209mm
適合水槽 (目安)	45cm(45L) 以下	60cm(60L) 以下
適用	淡水・海水両用、屋内専用	

※ポンプ性能とは、モーター部を単独運転させたときの理論上の最大流量を示します。使用環境により実際の流量とは異なります。
※適合水槽は、実際の使用環境を想定した目安として設定しています。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告・注意などをよく読み、理解してからご使用ください。間違った使い方は人や生体、器具類の故障、感電、火災など重大な事故の原因となりますので、絶対に避けてください。

⚠ 警告

- 正しい電源電圧 (AC100V) 以外での電源使用はしないでください。(故障、発火のおそれあり)
- 生体の出し入れ、掃除、点検、移動などのために水槽内部に手を入れるときは、必ずすべての電源を抜いてください。(感電のおそれあり)
- 電源プラグを抜く時はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。(感電、発火のおそれあり)
- 電源プラグやコンセントを濡らしたり、濡れた手で電源プラグの抜き差しをおこなわないでください。(感電・故障のおそれあり)
- 本品の電源プラグや本体を改造して使用しないでください。(感電・発火のおそれあり)
- 電源プラグの刃の部分やコンセントの汚れやほこりは定期的に取り除いてください。(発火のおそれあり)
- 海水水槽で使用する場合は、電源プラグやコンセント部への塩だれに注意してください。いつも点検し、ふき取ってください。(漏電、発火のおそれあり)
- 引火性のもの (ガソリン、シンナーなど) の近くで使用しないでください。
- 本製品は水中専用ポンプです。必ず水中にセットしてください。空気中での空運転はしないでください。(停止、故障のおそれあり)

⚠ 注意

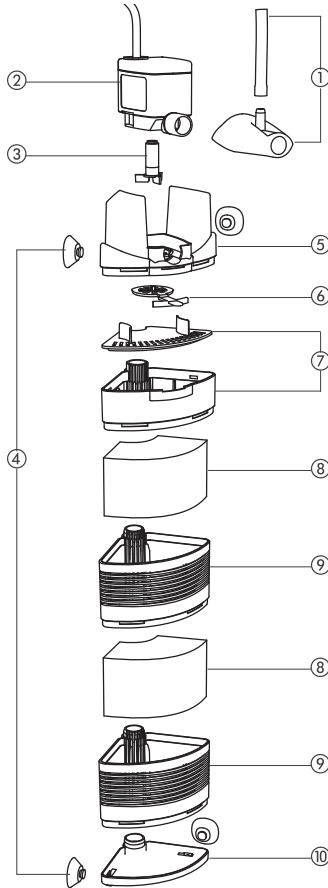
- 本製品は日本仕様として製造されています。日本国内のみでお使いください。
- 屋外や観賞魚飼育以外では使用しないでください。(感電、発火、故障のおそれあり)
- 製品の仕様と異なる周波数の地域では使用しないでください。(異音、停止、故障のおそれあり)
- 電源コードに水が伝ってコンセント部を濡らさないようにしてください。コードをたわませて水を逃してください。(感電、発火のおそれあり)
- 電源コードを傷めないでください。曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど。(感電、発火のおそれあり)
- 本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。(感電、発火、故障のおそれあり)
- 電源プラグはきちんと差し込み、タコ足配線もしないでください。(発火のおそれあり)
- 本製品はON OFFの繰り返しを続けるような装置に接続して使用しないでください。(停止、故障のおそれあり)

- 本製品の運転を開始する前に、接続部が正しく取り付けられ、水漏れや停滞や逆流などが無いかをよく確認してください。
- 小さなお子様には操作させたり、本体にさわったり、いたずらをさせないでください。(感電、発火、故障のおそれあり)
- 弱った魚、稚魚、小型魚などがフィルターケースの吸い込みに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 底砂をご使用の際は、吸い込みを防ぐため、十分な距離をあけてください。(停止、故障のおそれあり)
- 1日1回は本製品が正常に作動し、水流が正常であることを確認してください。定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いでください。(故障、飼育生体が死に至るおそれあり)
- 本体のコードは使用中に水中で劣化が進み硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検してください。(感電、故障のおそれあり)
- 使用中、異常が発生した場合は使用を中止し、生体の保全と安全のための適切な処置を行ってください。
- 水温35℃以上では使用しないでください。
- 初めてセットした場合は、セット後30～60分はポンプが正常に作動しているかを確認してください。また留守にする前にセットしないでください。
- ださい。(停止、故障のおそれあり)

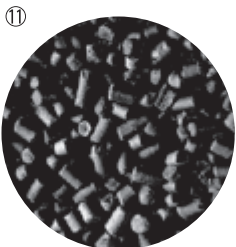
その他のご注意

- 梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異常がないかを確認してください。破損などが見つかった場合はそのまま使用せず、速やかに買い上げ店にお申し出ください。
- 適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚などを飼育する場合は、他フィルターの併用や匹数の調整をおこなってください。
- お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。製品の品質劣化、生体への悪影響のおそれがあります。ぬるま湯に浸した布や、柔らかいブラシを使用してください。
- ポンプは水槽システムの要です。24時間休みなく稼働しているため、インペラの摩耗、モーター劣化等により故障することがあります。大切な飼育生体のために予備のポンプをご用意いただくことをおすすめします。
- 本製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更する場合がございます。予めご了承ください。
- 本製品を直射日光の当たる場所や凍るような場所などに設置したり、保管したりしないでください。
- 本製品を他の人に譲り渡す場合は、必ずこの取扱説明書も一緒にお渡しください。

分解図および本体各部の名称



- ①ディフューザー
エアチューブ
- ②ポンプ
- ③インペラー
- ④吸着盤 (4個)
- ⑤ポンプホルダー
- ⑥流量調節レバー
- ⑦ろ材ケース
- ⑧スポンジフィルター
(アクア60：2個、アクア160：3個)
- ⑨フィルターケース
(アクア60：2個、アクア160：3個)
- ⑩フィルター下部カバー
- ⑪エーハイムアクティブ (活性炭)



※左のイラストはアクア60

ご使用になる前に

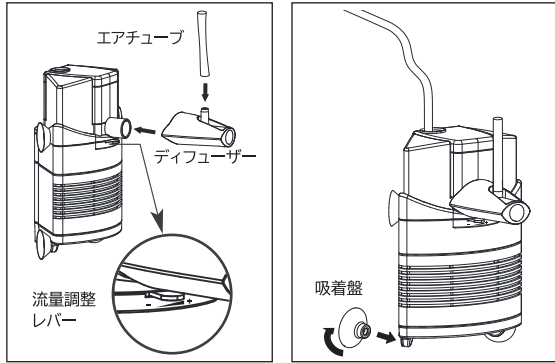
●開封する際は、すべての部品が揃っているか、また破損等がないか確認してください。万が一、部品の不足や破損が見られた場合には、そのまま使用せず、販売店様もしくは弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

●設置、清掃、点検作業をおこなう際は、水回り全ての電気機器の電源を切ってください。

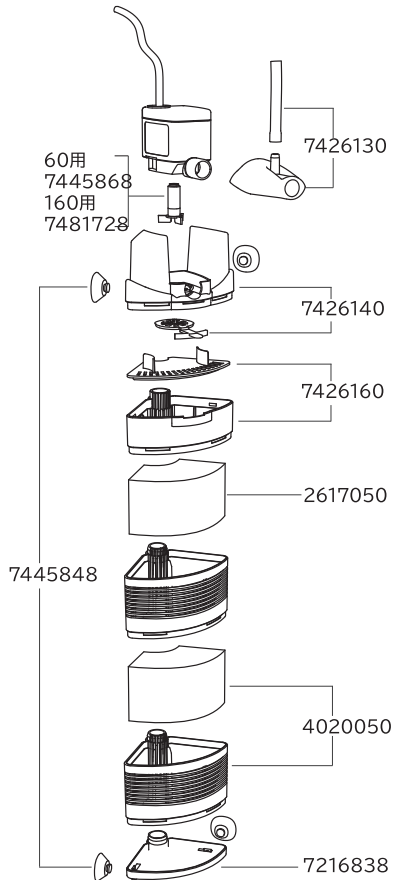
※組み立てる前に、絶対に電源を入れないでください。

使用方法

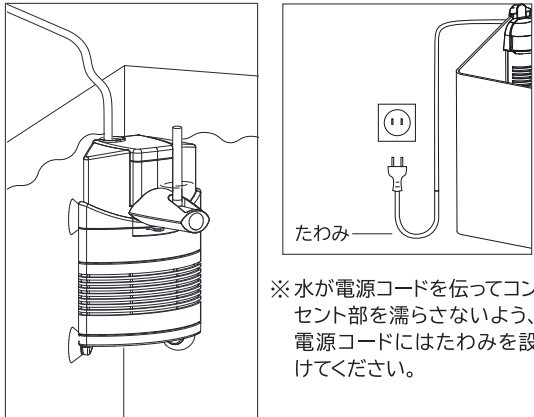
- 袋から取り出した活性炭とスポンジフィルターを水で軽く洗います。活性炭はろ材ケース、スポンジフィルターはフィルターケースにセットしてください。
- エアチューブを取り付けたディフューザーをポンプの流出口に接続します。下部の流量調整レバーを左右に動かすことで、流量調整が可能です。
- 吸着盤を軽く濡らし、ポンプホルダーとフィルター下部カバーに回転させながら押し込んで取り付けます。



主要部品図



- 水槽内に本体を押し当てて固定します。ポンプ部分が水中に浸かっていることを確認してから電源を入れてください。
- ※ 必ずポンプ本体が水面より下になるように（水中につかるように）設置してください。



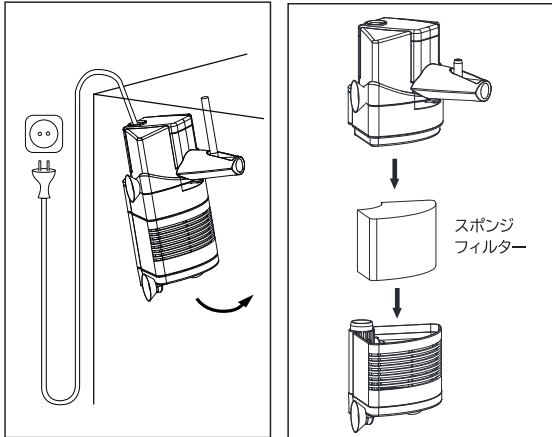
<ディフューザーについて>

- ディフューザーを使用する場合は、チューブの先が水面から出るように設置してください。
 - ディフューザー接続時は、モーター音以外に空気を吸い込む音が発生しますが、製品に問題はございません。
- ※ディフューザー流出口には何も接続しないでください。エアチューブより水が逆流します。
- ※ディフューザーの能力はフィルターの汚れの程度にともない低下します。定期的なメンテナンスをおすすめします。

日常のお手入れ

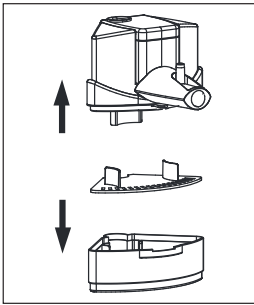
<フィルターケースの掃除>

- フィルターの電源を切った状態でポンプを取り外します。片方の手でポンプを、もう片方の手でポンプホルダーをしっかりと持ち、引き離すようにして分離してください。
- フィルターケースをやさしく分離したのち、フィルターケースおよびスポンジフィルターを洗浄します。スポンジフィルターは、ろ過バクテリアの死滅を防ぐために飼育水での洗浄をおすすめします。スポンジフィルターは3～4回の洗浄ごとが交換の目安です。



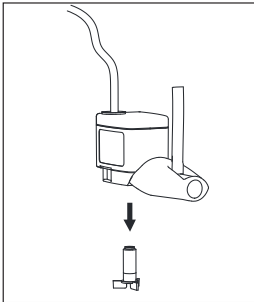
- ポンプホルダーからろ材ケースを取り外し、活性炭を取り出して交換します。清掃した構成部品を元通り組み立てます。組み立ては、慎重におこなってください。

※ 古い活性炭は再使用しないでください。活性炭は、約2週間で吸着力がなくなり、吸着した汚れが飼育水に放出される恐れがあります。



<ポンプ部の掃除>

- フィルターの電源を切った状態でポンプを取り外します。片方の手でポンプを、もう片方の手でポンプホルダーをしっかりと持ち、ポンプの流出口側を上にならずように分離してください。
- インペラーを抜き出し、インペラーおよびインペラー収納部をインペラーブラシセット（4009560、別売）で清掃してください。
- ポンプからディフューザーを取り外してください。ポンプ本体の流入・流出開口部や流量調整レバー部をインペラーブラシセットで清掃してください。
- インペラーを元の位置に戻し、ポンプおよびディフューザーを元通りに組み立ててください。



故障かな？と思ったら

現象（症状）	原因	処置方法
運転開始時の異常音	ポンプが水面から外に出ている	水槽に水を足して、ポンプが完全に水中につかるようにしてください。
	インペラーの破損・装着不完全	インペラーを点検して必要の場合は交換してください。
	フィルター内に空気が多く残っている	しばらくすると空気は自然に抜けますが、電源のオン / オフを繰り返して空気を抜くこともできます。
	水槽壁面などとの共振	フィルター本体が水槽などに直接触れないよう位置を調整してください。
	流量調節レバーの締めすぎ	流量調節レバーを動かして調節してください。
連続運転中の異常音	インペラの摩耗や破損	インペラーを点検して必要場合は交換してください。
	スポンジフィルター、部品の汚れ	スポンジフィルター、部品を清掃してください。必要場合は交換してください。
	活性炭の目詰まり	活性炭は再使用せず、2週間で新しいものに交換してください。
作動しない・水が出ない	運転開始時の異常音を参照	
	コードが断線している	ただちに使用を中止して、新しいものに交換してください。
	電源が入っていない	電源プラグをコンセントに差し込み電源を入れてください。
水流が弱くなった	スポンジフィルター、部品の汚れ	スポンジフィルター、部品を清掃してください。必要場合は交換してください。
	活性炭の目詰まり	活性炭は再使用せず、2週間で新しいものに交換してください。
	インペラーの摩耗や破損	インペラーを点検して必要場合は交換してください。
	インペラー部の汚れ	インペラーと収納部をインペラーブラシで清掃してください。
ディフューザーの出が悪い	流出口、ディフューザーの汚れ	インペラーブラシなどで清掃してください。
	水流が弱くなったを参照	
	エアチューブが空気中に出ていない	エアチューブが水面から出るようにしてください。
	ポンプの位置が深すぎる	ポンプの位置を調整してください。その際、ポンプが水面から外に出ないようにご注意ください。
	流量が弱すぎる	流量調節レバーを動かして調節してください。
	流出口、エアチューブの汚れ	インペラーブラシなどで清掃してください。